

平成30年度職員満足度調査（全市版集計結果）

1. 調査概要

- 調査期間：平成30年7月13日～8月10日
- 調査対象：再任用職員・嘱託員を含む全職員 23,791名 [前回調査(平成28年度)：23,550名]
※企業局(水道局・交通局・医療局病院経営本部)職員及び市立学校の教職員を除く。
- 回答者数：21,358名 [前回調査(平成28年度)：21,069名]
- 回答率：89.8% [前回調査(平成28年度)：89.5%]

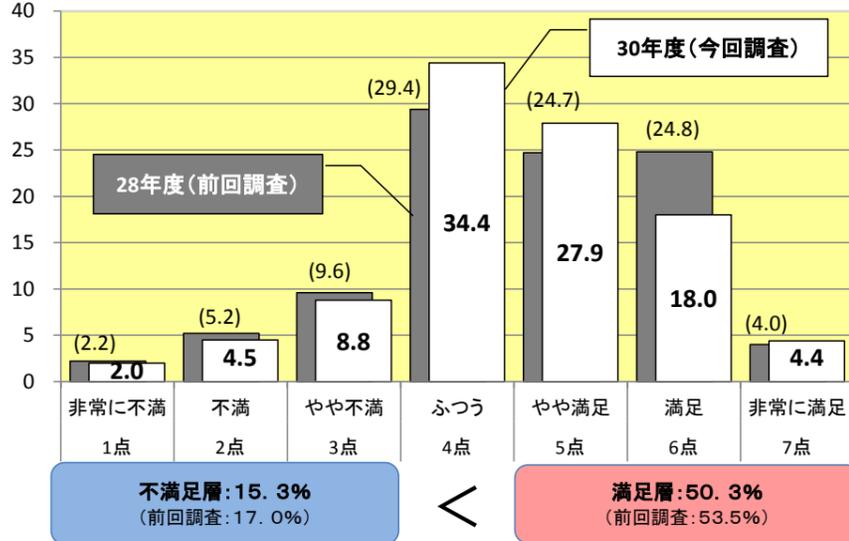
2. 総合満足度

■ 結果概要	7点満点中 4.53点(中間点:4.00点)となり、前回調査(平成28年度 4.60点)と比較し0.07点のマイナスとなっている。
■ 回答別構成比	回答別構成比を見ると、ふつうが34.4%と前回調査(29.4%)よりも5.0%増加する一方、満足が18.0%と前回調査(24.8%)よりも6.8%減少しており、その結果、満足層は50.3%と前回調査(53.5%)よりも3.2%減少している。また、不満足層も15.3%と前回調査(17.0%)よりも1.7%減少した。
■ 時系列推移	時系列でみると、平成20年度に現行の調査を開始して以降、5回連続で上昇してきたが、平成30年度には減少した。

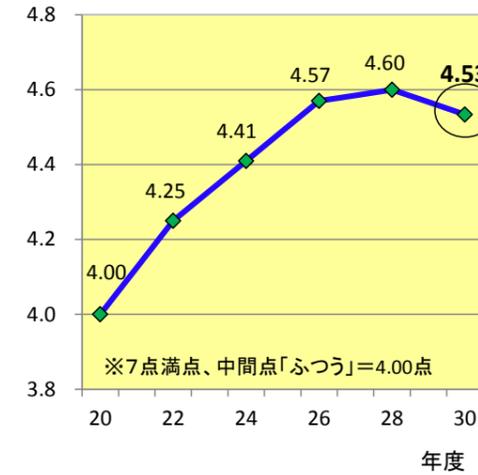
図表1. 総合満足度

Q01.あなたは総合的に考えて、現在の仕事・職場・横浜市役所にどの程度満足していますか

(1)回答別構成比(%)



(2)時系列推移(点)



※「非常に不満」1点から「非常に満足」7点として加重平均 ※7点満点、中間点「ふつう」=4.00点

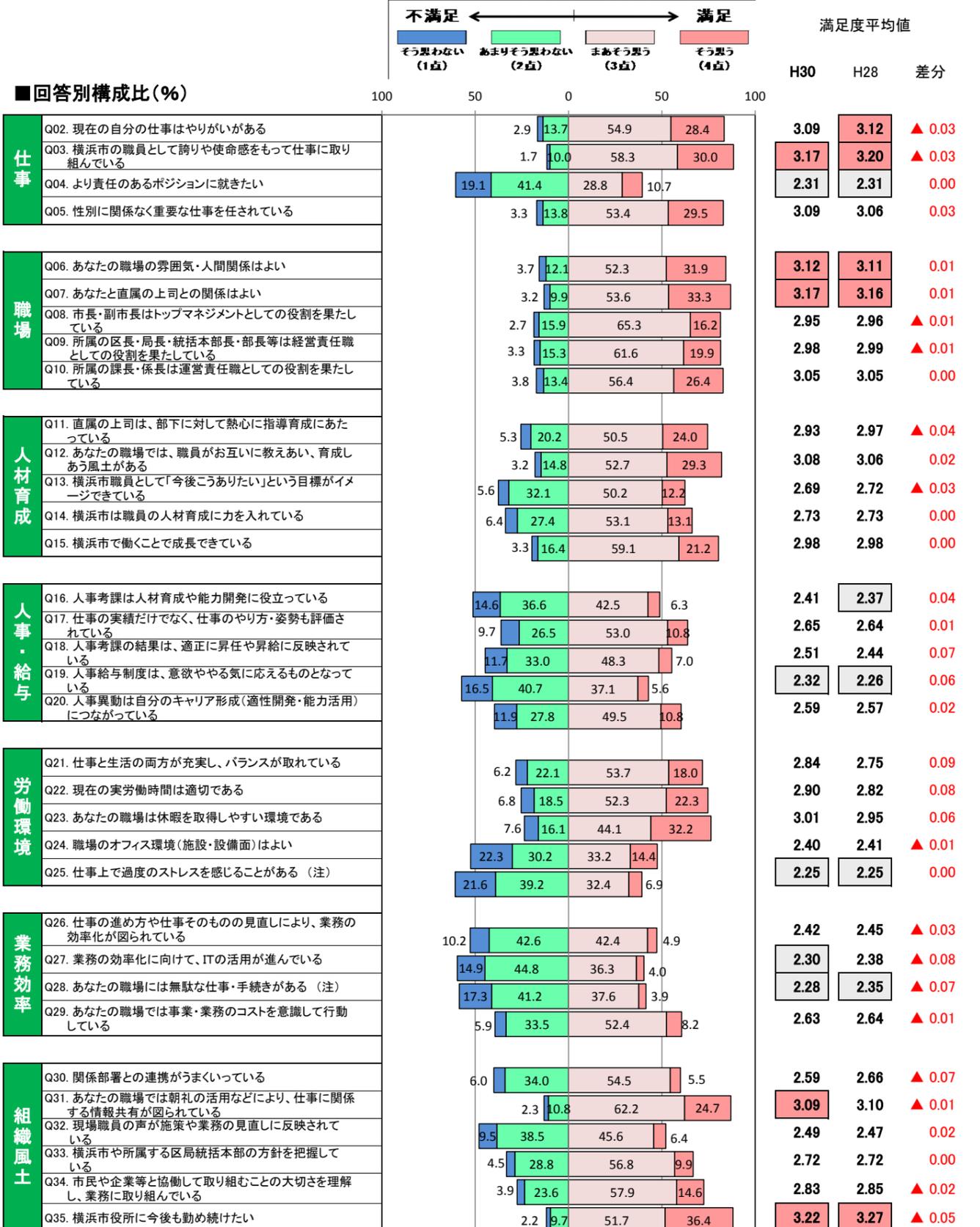
3. 個別満足度

■ 結果概要	個別満足度(総合満足度を除く)の平均値は前回より微増となった(2.78(+0.02))。また、前回より数値が上昇した項目数は「Q21.仕事と生活の両立」など13項目、低下は「Q27.IT活用による業務効率化」など15項目、横ばいは6項目だった。
■ 前回調査比較	(1) 満足度が特に上昇した設問 「Q21.仕事と生活の両立」、「Q22.適切な労働時間」、「Q18.人事考課の昇任・昇給への反映」、「Q19.人事給与制度による意欲向上」、「Q23.休暇を取得しやすい環境」 (2) 満足度が低下した設問 「Q27.IT活用による業務効率化」、「Q28.職場の無駄な仕事・手続き」、「Q30.関係部局との連携」、「Q35.横浜市役所への勤続意向」、「Q11.上司の指導育成」
■ 個別満足度水準	(1) 相対的に満足度の高い設問 「Q35.横浜市役所への勤続意向」、「Q03.職員としての誇り」、「Q07.上司との関係」、「Q06.職場の雰囲気」、「Q31.職場内の仕事の情報共有」 (2) 相対的に満足度の低い設問 「Q25.仕事上のストレス」、「Q28.職場の無駄な仕事・手続き」、「Q27.IT活用による業務効率化」、「Q04.責任のあるポジション希望」、「Q19.人事給与制度による意欲向上」

※ 各5項目まで記載。なお同一点数又は同一差分のものが複数あった場合は、設問番号の若いものを記載。

図表2. 個別満足度

※ 個別満足度は34の設問からなり、各設問は4点満点であり(中間点2.50点、「そう思わない(1点)」～「そう思う(4点)」の4つの選択肢から1つを回答)、今回調査の平均値は2.78点であった(平成28年度 2.76点)。



(注) Q25、Q28は、回答結果の数値を変換し、他の設問と同様、数値が高いほど項目の満足度が高くなるよう調整している。
例えば、Q25では、数値が高いほど仕事上のストレスは小さい。
構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。